**公共施設等の更新問題に関するアンケート　集計結果**

回答対象　共愛学園前橋国際大学の学生　計59人

１　あなた自身のことについてお伺いします。

２　高度成長期以降に集中して建設した公共施設の老朽化が進む中で、施設の安全性やそれに伴う整備、更新（建替え）に係る財政負担が課題となっていることについて、ご存知ですか。

【ポイント】

H30年度の結果と比較すると、ほぼ横ばいであり、認知度が低いことが見受けられます。

また、webアンケート（R2.3.9～27）の結果と比較すると、若年層の認知度が特に低い状況であり、若年層向けに周知する必要があると考えられます。

３　公共施設（建物）の利用状況を教えてください。

【ポイント】

どの公共施設も学生の利用頻度が低いことがわかります（ほとんど利用しない、年に数回と答えた学生が８割以上）。

　図書館は、月に１回程度利用する割合が他施設と比べ多いことから、情報収集の場として利用されていることが考えられます。

４　今後、限られた財源の中で必要な公共施設を維持又は存続していくためには、どのような取り組みを進めるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを３つまで選んでください。

【ポイント】

維持又は存続していくためには、「建物の削減」、「民営化」、「経費削減」の３つを進めるべきと考える学生が多いことがわかりました。

５　「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の総量（延床面積）を縮減していくことを目標としていますが、どのようなことを考慮して公共施設を見直ししていくべきだと思いますか。もっとも見直しが必要だと思う施設を１つ選んでください。

　また、選んだ施設の具合的な見直し方法について、あなたの考えにもっとも近いものを１つ選んでください。

【ポイント】

利用が少ない施設を見直ししていくべきと考えている学生が６割以上を占めています。

　具体的な見直し方法として最も多いのは、「廃止・複合化」でした。

６　公共施設の見直しにより、利用している公共施設が統合や廃止によってなくなり、同じサービスを提供している施設が今までより遠くなるなど、利用しづらくなる場合もあると考えられます。このことについてどのように思いますか。

【ポイント】

　許容できる又はある程度まで許容できると答えた学生が９割以上占めています。

【

７　現在、民間の施設と類似するサービスを公共施設が提供しているケースがあります。

　　このような状況について、どのように思いますか。

【ポイント】

　「今のままで良い」と答えた学生が一番多い割合を占めていますが、「料金を差別化」、「民間に任せる」と答えた学生も同様に多いことから、民間の施設と類似する施設は、差別化や民間に任せることも必要と考えられます。

８　公共施設の施設管理や事業運営を民間等が行うという民間活力の導入の考え方について、どのように思いますか。

【ポイント】

　賛成又はおおむね賛成と答えた学生が約７割を占めています。

９　今後の公共施設の活用等について、あなたが感じていることや思っていることがあれば教えてください。（自由記載）

・市民や利用者の利便性と縮減を両立させることを考慮すべきと考える。

・主要な施設が遠くても、市民SCが近くにあれば、簡単な用事はそちらで済ませることができるので、統廃合で施設を減らしても、その分小規模なセンターなどを作ることで対応できると考える。

・自分が使わなくとも必要としている人がいる限りいらないとは言えない。なくしてしまうなら、代わりの場所まで行きやすいような工夫が必要。公共施設まで行けるバス、タクシーなど（公共交通機関）があると便利。

・若年層の利用が少ないような気がする。そのため、どの世代でも利用しやすいサービスがあったらいいなと思う。

・老朽化が起きている建物に関して、建て直しや修理などは当然必要だと思うが、どの選択にせよお金がかかってくる点がどうしても問題点になると思うので、そこが難しいと感じました。

・無駄をなくすことが大切だと思う。

・民間の意見を取り入れることで協力が得られると思う。

・民間で同様の施設がある場合、そこの差別化をしっかりしていかないとある意味がないと感じます。

・前橋にはムダが多い。特に太陽の鐘。太陽の鐘が前橋のシンボルになっているとは言い難いし、維持費だけがかかる。